

インフルエンザ週報 2019年 第3週 <確定版> (1月14日～1月20日)

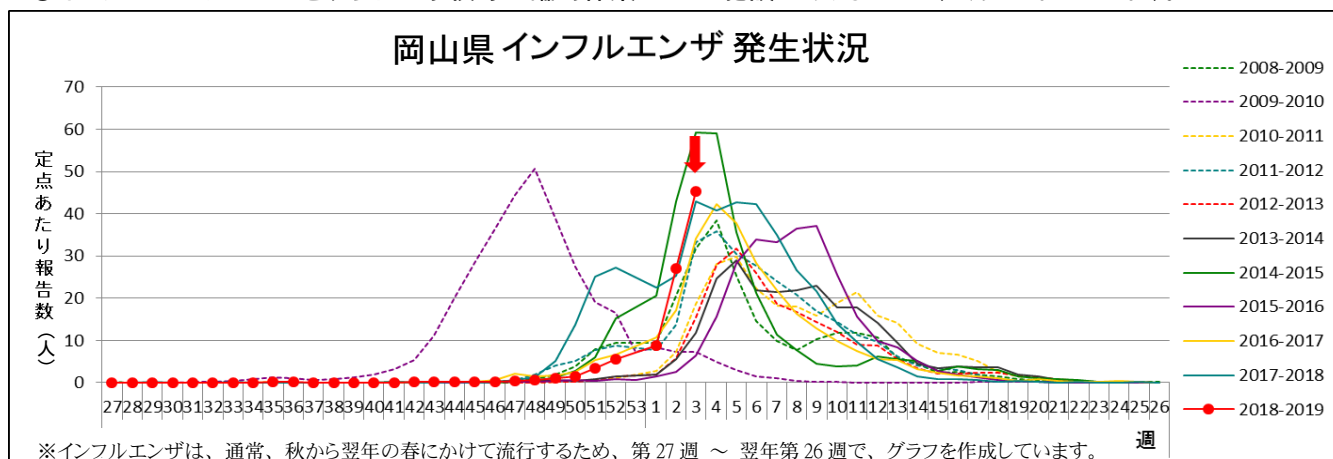
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました(1月24日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で3,808名(定点あたり45.33人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が120施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者60名の報告がありました。

【第4週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が197施設でありました(1月21日～28日)。



インフルエンザは、県全体で3,808名(定点あたり27.14→45.33人)の報告があり、前週から増加しました。県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の30.00人を上まわり、今後も患者増加の可能性があることから、岡山県は1月24日に『インフルエンザ警報』を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市(72.56人)、岡山市(47.09人)、備中地域(43.00人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で患者数が増加し、急速に流行が拡大しています。第2週から発生レベル3となった倉敷市に加え、新たに岡山市、備前地域、備中地域、真庭地域が発生レベル3となり、備北地域、美作地域で発生レベル2が継続しています。学校等の臨時休業は、前週(11施設)より大きく増加し、第3週は120施設から報告がありました。また、第4週(1/21～)速報でも、すでに多くの施設から報告されているため、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団の中での感染に注意してください。今後とも県内の発生状況に注意するとともに、『帰宅後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避ける』、『マスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど、咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザの流行が継続しています。

いっそうの感染予防に努めましょう。

【予 防】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 人混みに入る場合は、マスクを着用しましょう。特に高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【かかったかな? という時には】

- ・ 早めに医療機関を受診しましょう(受診時はマスクを着用してください)。
- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	3,808	▲	備 中	患者数	516	▲
	定点あたり	45.33			定点あたり	43.00	
岡山市	患者数	1,036	▲	備 北	患者数	147	▲
	定点あたり	47.09			定点あたり	24.50	
倉敷市	患者数	1,161	▲	真 庭	患者数	92	▲
	定点あたり	72.56			定点あたり	30.67	
備 前	患者数	606	▲	美 作	患者数	250	▲
	定点あたり	40.40			定点あたり	25.00	

【記号の説明】 前週からの推移

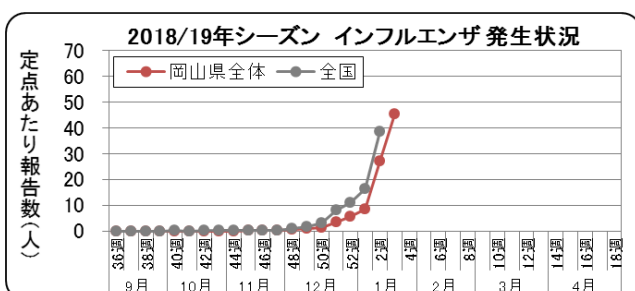
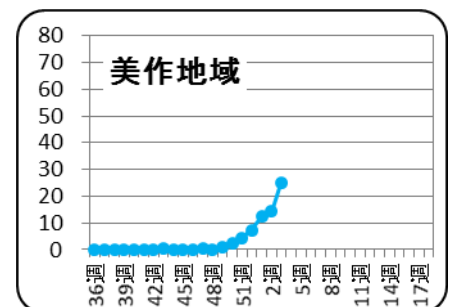
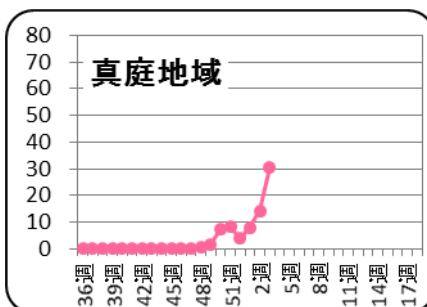
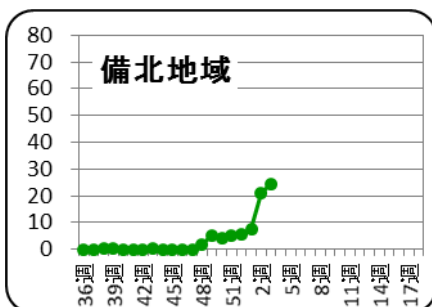
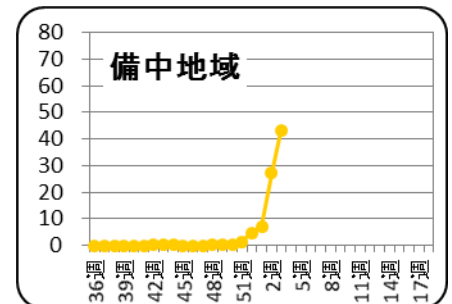
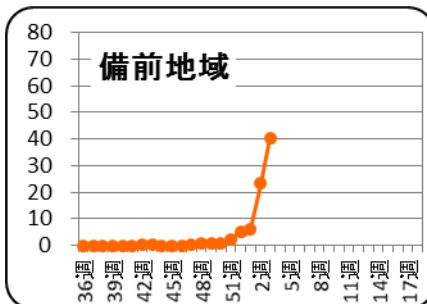
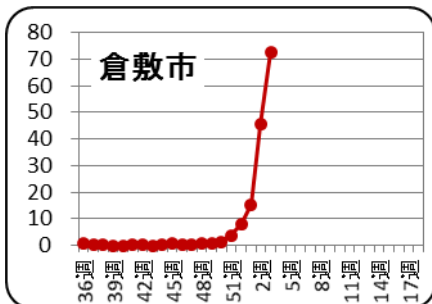
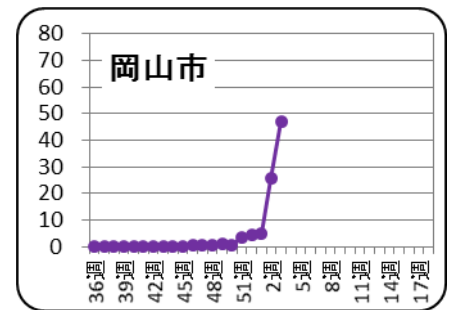
▲：大幅な増加 ▲：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

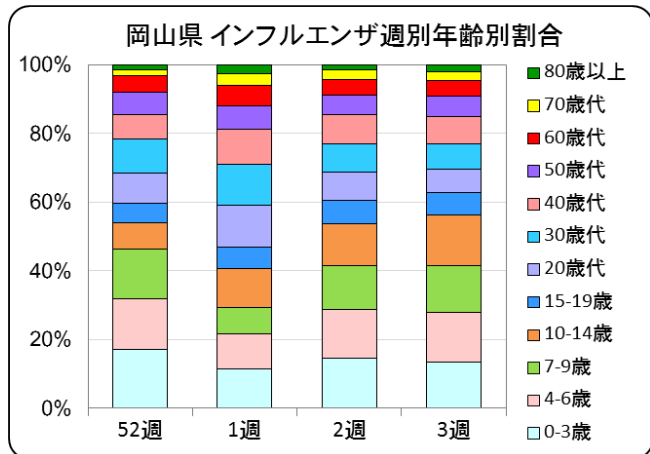
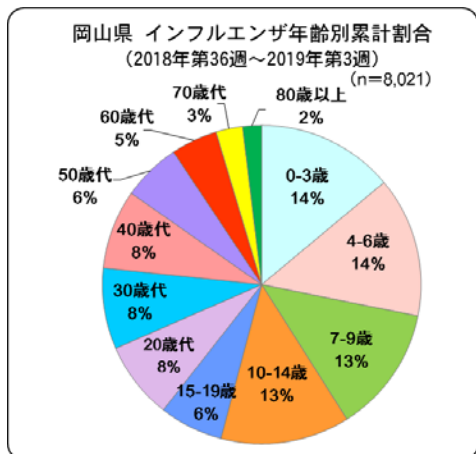


全国集計 2019 年第 2 週（1/7～1/13）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 38.54 人となり、前週（16.30 人）から増加しました。都道府県別では、愛知県（75.38 人）、熊本県（58.79 人）、岐阜県（53.94 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。32 都道府県で定点あたり報告数 30.00 人を超えました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

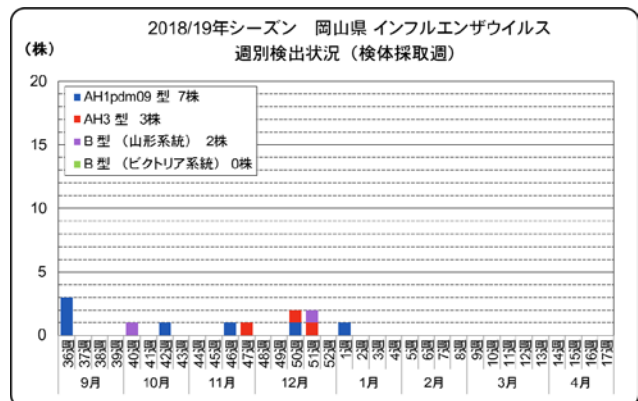
2. 年齢別発生状況

0歳から14歳までで約半数（54%）を占めていますが、広い年齢層で報告されています。



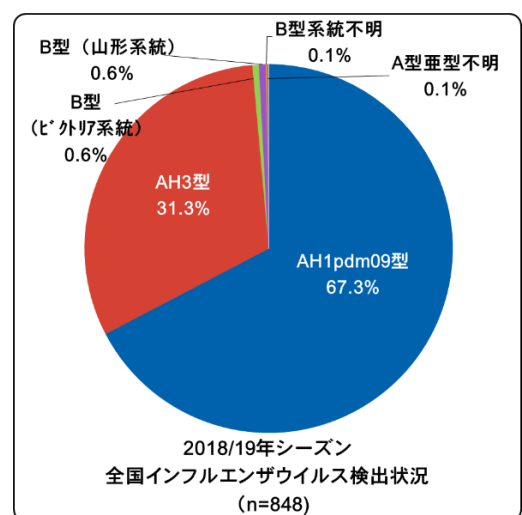
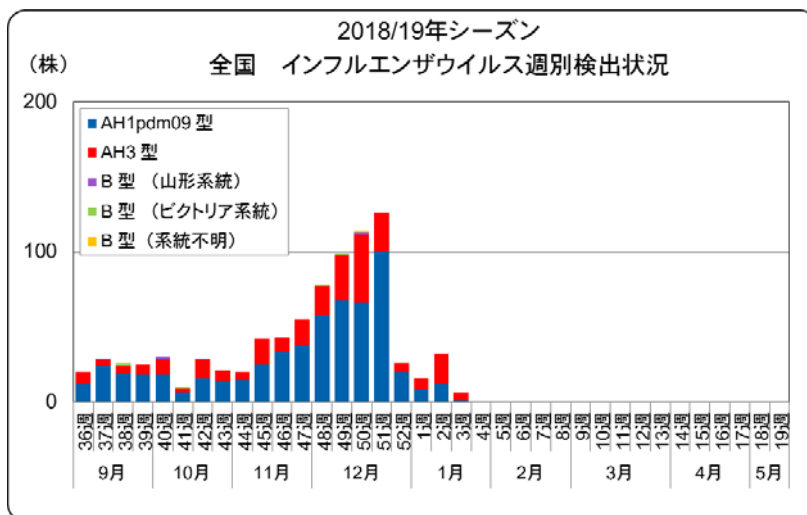
3. インフルエンザウイルス検出状況

2019年第3週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは12株で、その内訳は、AH1pdm09型7株、AH3型3株、B型（山形系統）2株となっています。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が571株、AH3型が265株、B型が11株（山形系統5株・ビクトリア系統5株・系統不明1株）、A型亜型不明1株となっています（1月18日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)



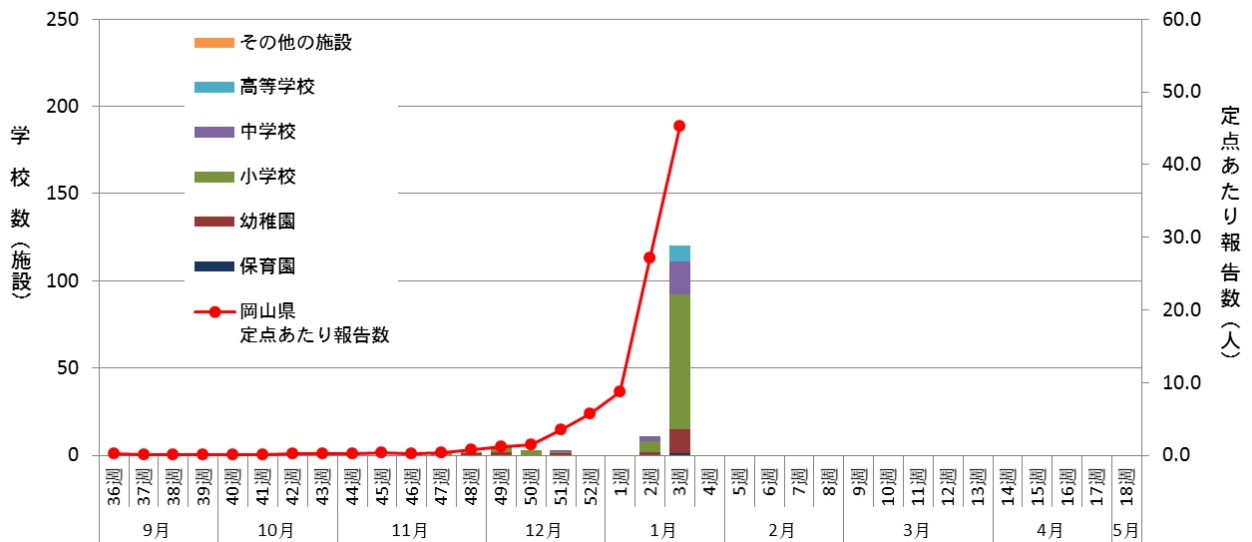
4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、120施設でありました。

【第3週 臨時休業施設数】

▽岡山市	51	▽倉敷市	34	▽津山市	1	▽玉野市	2	▽笠岡市	1
▽井原市	4	▽総社市	6	▽高梁市	2	▽新見市	1	▽備前市	2
▽瀬戸内市	1	▽赤磐市	3	▽真庭市	1	▽美作市	1	▽浅口市	3
▽里庄町	3	▽勝央町	2	▽美咲町	1	▽吉備中央町	1		

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業 週別発生状況



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2056	2424	1736	2030	120	149	1	3	32	39	87	107	H30.9.26
岡山市	970	1141	800	927	51	64	—	—	7	7	44	57	H30.9.26
倉敷市	575	634	503	558	34	38	0	1	8	9	26	28	H30.11.12
備前地域	107	112	102	107	9	10	—	—	4	5	5	5	H31.1.10
備中地域	301	343	254	287	17	23	1	1	8	12	8	10	H30.12.13
備北地域	34	34	15	15	3	3	—	—	1	1	2	2	H31.1.15
真庭地域	5	5	5	5	1	1	—	—	—	—	1	1	H31.1.17
美作地域	64	155	57	131	5	10	0	1	4	5	1	4	H30.12.6

2) 臨時休業施設数の内訳

第3週：120施設

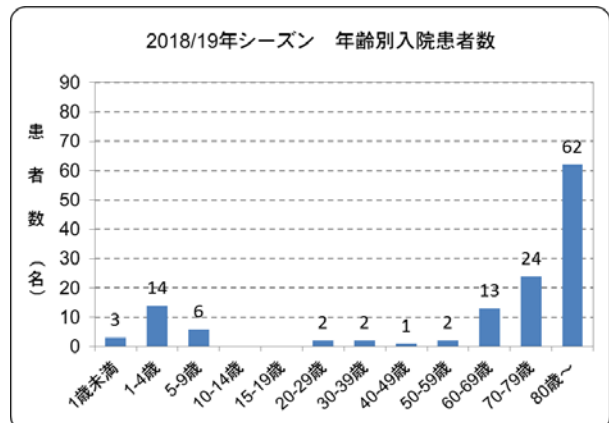
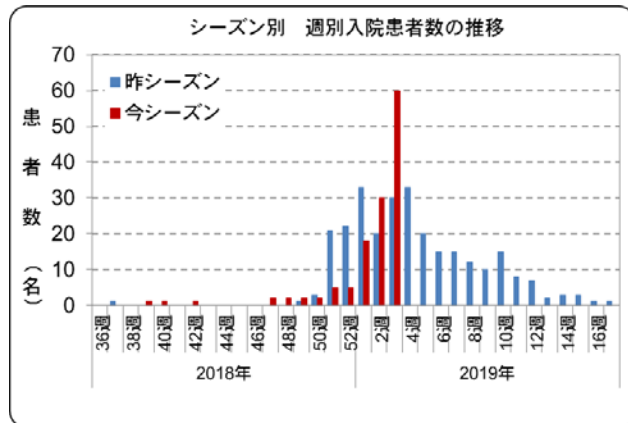
累計：149施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	1	1	14	21	77	93	19	25	9	9	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、60名（1歳未満1名、1-4歳1名、20-29歳2名、30-39歳2名、50-59歳1名、60-69歳5名、70-79歳13名、80歳以上35名）の報告がありました。特に70歳以上の高齢者が多く報告されています（前週：18名⇒今週：48名）。1週間で発生したインフルエンザによる入院患者数（2011年から調査開始）としては、岡山県では過去最多となりました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第3週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1				2	2		1	5	13	35	60
ICU入室*											1		1
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*						1				1	1	1	4
頭部MRI検査(予定含)*											1		1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	1	1				1	2		1	4	10	34	54

* 重複あり

【2018年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数	3	14	6			2	2	1	2	13	24	62	129
ICU入室*		1								1	1		3
人工呼吸器の利用*		1								1		2	4
頭部CT検査(予定含)*		2				1				2	1	4	10
頭部MRI検査(予定含)*		1	1								2	1	5
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	3	12	5			1	2	1	2	10	20	56	112

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成30年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株 \(国立感染症研究所\)](#)



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ

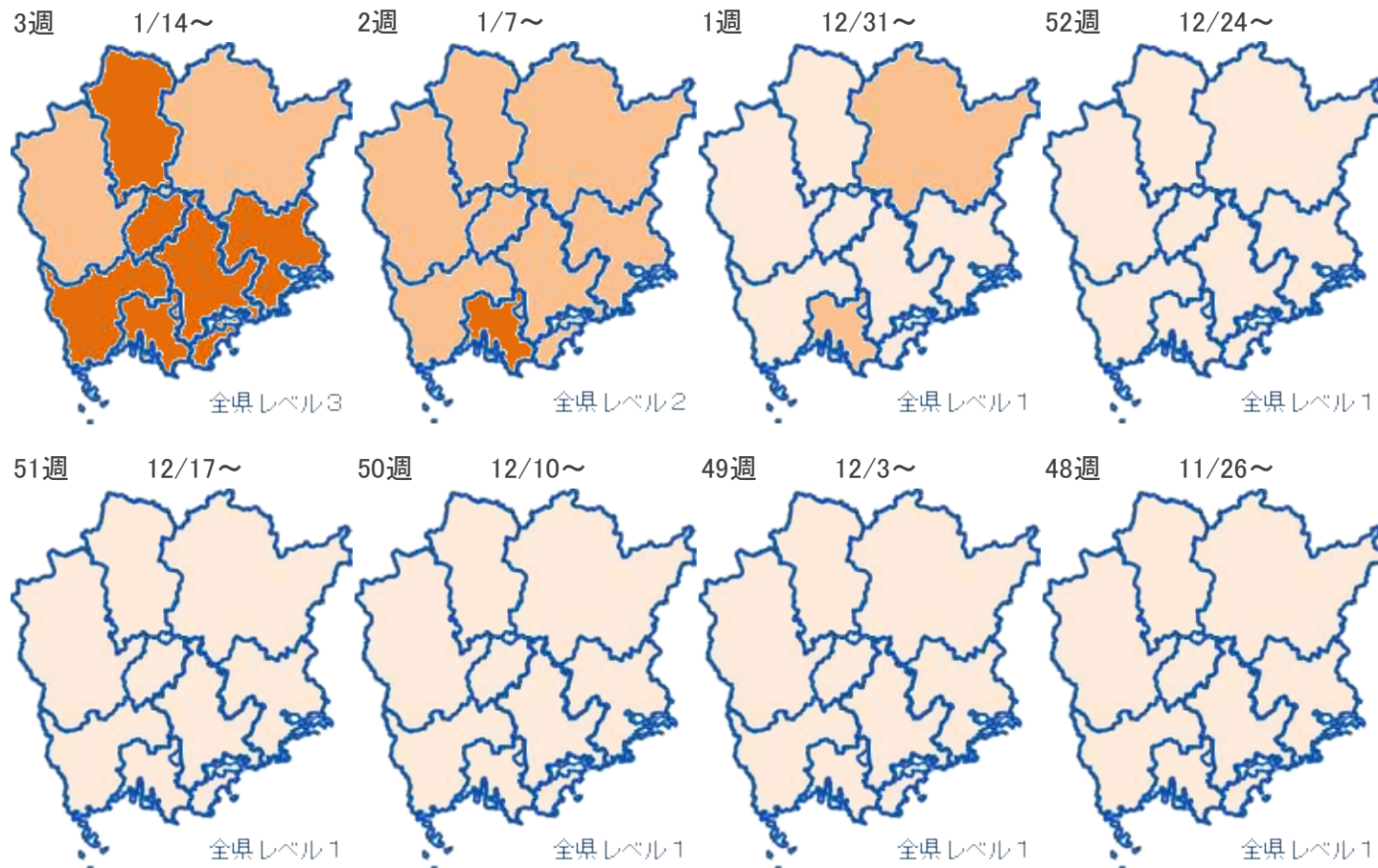
2019年 3週

2019年1月22日

17:00:56



インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。